

【意見・要望概要一覧表】

【第1部：流山市役所（委員会室）】

No	意見・要望（項目）	意見・要望内容
1	除染実施計画案は、総論では賛成、各論で賛成・反対の両方がある	今回の除染実施計画（案）について、総論では賛成、各論では賛成・反対と色々あります。
2	除染実施計画案作成の動きが遅い	流山市は初動が遅かった分、「人・金・物」が結びつかないことや風評問題もあるため、今後は「絵に書いた餅」にならないようしっかり行動願いたい。
3	子ども達の利用する施設の基準は低い線量基準とする	「子ども達が利用する施設については5cmで毎時0.23マイクロシーベルト」の市独自の基準を設定したことは評価できるが、さらに自然放射線量を考慮しない毎時0.19マイクロシーベルトまで基準値を下げていただきたい。
4	近隣市の良い所を参考に除染を実施	流山市と同じように我孫子市、松戸市、柏市が横並びな除染の取組をしており、各市の取組にもばらつきがあると思えるので、各市の良いところをとって全体の除染計画を進めて頂きたい。
5	民有地も子どもがいる住宅を優先に除染	松戸市は、民有地で子どもがいる住宅地を優先して除染を行う計画を打ち出しており、本市も同様をお願いしたい。
6	公園における除染案内の看板を設置	公園においても市独自の目標値で行っているが、この公園が「安心して遊べる場所」であるのか分かるような看板の設置、或いは線量の高い場所にはカラーコーン等を置くなど「ここは線量が高い」ことが分かるようにして頂きたい。
7	除染手順を明確にし市民と協力して行う	子どもが多く利用する施設、通学路、公共施設は「市民との協力のもとで実施する」とあるが、除染の手順、費用の問題さらには除染作業の準備用品など明確に市民に示して頂きたい。
8	モニタリングポストの設置	モニタリングポストについて、千葉市、市原市、旭市といった比較的、線量が高い地域に設置されているが、東葛飾地域内の本市も福島県内と同程度くらい線量が高いとの認識で、モニタリングポストの設置をお願いしてもらいたい。
9	仮置場を確保し側溝汚泥処理の早急な対策	側溝の汚泥処理について、汚泥の保管場所がないとのことだが、市内の県やURの工事現場など、人の居ない所を開拓することや汚泥を固めて仮置場に保管することなど、早急な対策して頂きたい。
10	無駄なく効率の良い除染の検討	アスファルトの除染については、面的な除染が必要と思うが効率的な除染も大事ではあるが無駄なく行って頂きたい。
11	スケジュール、進捗状況、除染結果を市民に周知させる体制の確立	子どもの保護者としては、除染の細かいスケジュールやその進捗状況、さらに除染後の結果として、子どもがその場所で元気で遊べる場所なのか、お母さん達が確認できる対策をとって頂きたい。
12	除染の横断的な組織対応について	除染対策で縦割り行政を防ぐために市長直轄の除染チームを結成し、その部署の権限を高めるなど市民側の意見に速やかに対応できる体制を整えて頂きたい。
13	市民との更なる意見交換等の実施	現在の公園における看板設置の対応などを見る限り、対応の即応性を含めて、市民側との意見交換を常に行うという事を考えて頂きたい。
14	除染の予算を計画に基づき有効に使うこと	これから多額の予算を使うのであれば、細かな線量測定を行い、その結果に基づき効率よく効果的な除染を行うなど有効に予算を使って頂きたい。
15	専門家を入れた除染計画の策定	放射能問題は除染を含め専門的な知識を有することから、除染の計画段階から何を具体的にどのように行うか専門家の意見をきちんと組み入れた計画を作って頂きたい。
16	公園等、除染活動の市民への周知徹底	市民や自治会の方が公園等を測定し、高い線量のときには速やかに除染していただくような体制とその除染した情報の提供について徹底して行って頂きたい。

【意見・要望概要一覧表】

No	意見・要望(項目)	意見・要望内容
17	他市と比較し本市は除染対応は早い方である	流山市は初動が遅いという話がありましたが、私は流山市は千葉県との話し合い等を含め「割合、早く動いた」という印象があります。この動きが東葛6市に繋がったと思います。柏市が新聞報道でよく出るのは中核都市であるため、マスコミに取り上げられるのは仕方がないと思います。
18	効果的な除染の方法と優先順位について	子どもが多く利用する施設、通学路、公共施設で「5cmで0.23マイクロシーベルト」という厳しい目標値を掲げたという事は、その数値の意味をしっかりと理解し効果的な除染方法ときちんとした優先順位が必要となることから、しっかりと見極めて計画を立てて頂きたい。
19	柏市と比較した公園の除染方法について	柏市との行政境に住んでいると公園の除染作業の取り組みでも本市と大きな差がある。柏市ではきちんと放射線量の高い公園には看板が設置されているが、本市の公園は全くない。今後の除染は早く行うとともに看板等を含め、市民に分かるよう周知徹底をお願いしたい。
20	公園、学校での除染実施時期の市民への周知	学校での除染を行うときには、子ども達のマスクの着用など健康管理に配慮して頂くことや、公園の除染では市民が除染結果について、必ず分かるように情報提供の徹底をお願いしたい。
21	除染計画の市民に対する徹底周知	この計画の中には「市民に除染を協力して頂きたい」という計画がありますが、協力していくためにも子ども達の母親或いはボランティア団体以外の市民も多くいることから、この計画は「市民全体で共同で行う」ということを積極的に情報発信すべきと思います。
22	除染計画に関わる広報活動の更なる充実化	除染計画案に関わる2/1号広報において柏市では半分程度が除染対策の記事であるのに対し、本市の同時期(2/1号)広報では2面程度の紙面と少ないと思われることから、市民への周知徹底を図るため発行回数を増やすなどの対策をお願いしたい。
23	学校の除染実施における案内板の設置	野田市は除染中の小学校においては、校門の前に「除染中」と保護者等に分かり易く大きな看板表示がありましたが、本市においても除染作業を行う場合は、保護者等に分かり易い看板を設置したうえで実施願いたい。
24	公園での除染を実施した後の看板の設置について	公園における看板の設置については「何月何日に除染しました」ということが市民の誰が見ても分かるような看板を設置願いたい。
25	学校での内部被ばく対策について	内部被ばくを心配しておりますが、学校においてマスクの着用や手洗いの励行など、お金をかけないでもできる事に対して周知徹底を図るようお願いしたい。
26	除染実施に伴う市民の協力の重要性について	柏市の公園における除染の一例として市民が測定し高線量が出た場合に直ちに行政へ連絡し、除染作業を行ったということが新聞報道であった。このように市民団体を含め市民との協力を得ながら除染を進めて頂きたい。
27	NPO法人等のボランティア団体の活用	本市は非常にボランティア活動が盛んであり、このようなNPO法人に行政側から積極的に協力を呼びかけて頂きたい。
28	将来的なモニタリング調査の実施について	除染実施計画では、子どもが多く利用する施設は平成24年度中に検証を行い、除染という計画になっているが、除染後においてもモニタリングを継続して行って頂きながら、その後の除染対応もお願いしたい。

【第2部：北部公民館（大会議室）】

No	意見・要望(項目)	意見・要望内容
1	全自治会への測定器の貸与について	身近な場所での線量を測ることが重要であることから、測定器を市内の全ての自治会に貸与し、自治会に行けばすぐに使える体制を整えて頂きたい。
2	放射能関係のタウンミーティングの継続実施	除染計画(案)に伴うタウンミーティングは今回で終わる事になりますが、放射能問題に関してのタウンミーティングを今後も継続して行って頂きたい。
3	除染結果のHPでの公表について	除染計画(案)に基づき、公共施設等の除染を進めて行く中で、その結果については必ず市HPで公表し市民に情報提供願いたい。

【意見・要望概要一覧表】

No	意見・要望（項目）	意見・要望内容
4	全自治会への測定器配付について	現在の市が所有している測定器だけでは、これから民有地の除染を行うのには足りない。「どの場所が線量が高いのか分からない」という状況であるため、一自治会に最低一つは配付願いたい。
5	専門家の方を交えての除染協議について	除染実施計画を基に除染を協議していく上で「広い目で科学的な観点」で行う必要があることから、専門家の方々を交えながら今後も協議して頂きたい。
6	除染の計画時期が遅いのではないか。	本市の一部の場所では福島県に匹敵するような線量値が確認されている。現在、除染実施計画（案）では平成24年度の間中期からとなっているため、計画予定が遅いと思います。
7	公園の除染結果の看板表示について	小さな子どもを持つお母さんは、公園内の放射線量が分からなければ子どもを連れて遊ぶことができない状況にあります、今後、公園については除染結果について分かり易い看板の設置を強く望みます。
8	子ども達の遊べる施設の確保について	公園における放射線量が分からない現在、安心して小さな子どもが遊べる公共施設を確保して欲しい。
9	除染結果の市民への周知について	公園を始め、小さな子どもが遊ぶような公共施設での除染結果については、徹底して市民に周知願いたい。
10	除染に伴う精神的なケアについて	小さな子どもを持つお母さんは、一回除染された数値を示されても、未だ心理的な部分では除染されていないお母さんが沢山いることから、「心の部分で、どれくらい除染されているのか」についても考えて欲しいと思います。
11	民有地除染箇所(お寺・神社)の優先順位	公園以外にもお寺や神社などは、子ども達の遊び場となっており公共性が非常に高いと思われる。このことからこのような場所についての除染は民有地の中でも優先して行って頂きたい。
12	子どもの遊び場所のアンケート実施について	子ども達が実際に多く遊ぶ場所について把握しきれていないことから、自治会や学校で実際に子ども達が「どこで遊んでいる」等について、アンケート調査を行いながら情報を吸い上げ把握していくことを検討願いたい。
13	学校間での放射能関連の情報公開のあり方	放射能関連の情報について、学校間で大きく格差が生じていることから、市や学校が率先して積極的に公開していくことにより保護者への安心感が高まり、市民との協力体制ができると思います。
14	市の東電請求への姿勢について	東電への賠償請求については、「および腰」ではなく市民を味方にした毅然としたスタンスで対応願いたい。
15	マイクロスポットの正確な確認について	市内で局所的に線量が高いマイクロスポットの除染方法について、この計画（案）できちんと示して頂きたい。
16	除染計画で除染を複数の回数実施すること	マイクロスポットのような場所については、一度除染しても再度、放射性物質が溜まると考えられるので一度ではなく複数回の実施をお願いしたい。